

トレーニングトレーサーにおける Nucleoの追加工

本資料について

トレーニングトレーサーへNucleoを搭載するために実施した作業内容を記載しています。別途Nucleoを購入して搭載したい場合に参照してください。

抵抗の加工

安全性と使いやすさを考慮して、単4アルカリ電池直列4個接続で稼働できるよう、 Nucleoに搭載の3.3Vのレギュレータを使わず、外付けのレギュータでマイコン等へ電力を 供給しています。そのため、SB14の0Ω抵抗を外す必要があります。

3.3Vを外部から入れるとST-LINKと繋がっているNRSTがずっとLOWと認識してしまい、マイコンが起動しないので、SB9も外す必要があります。

また、アナログピンA5、A4がデータピンD5、D4に接続している状態であり、A/DとI2Cが同時に使えないため、 0Ω 抵抗のSB16とSB18を外す必要があります。

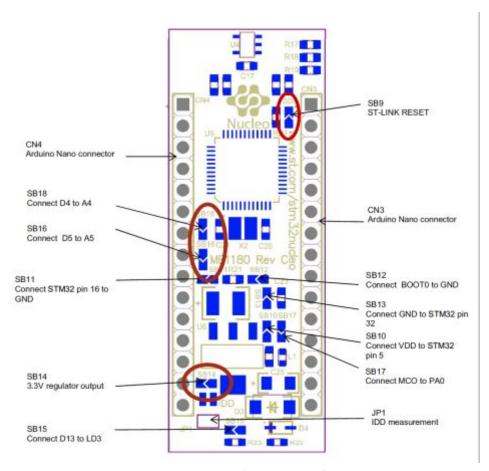


図.1 Nucleoボードの裏側¹



マーカセンサについて

マーカーセンサに関しては、接続されているピンではArduino IDEの関数がそのままでは使えないため、STEP8で機能を追加してあります。また、一部Nucleoのパッケージを書き換える必要があります。NUCLEO-F303のオリジナルは、A4とD4、A5とD5がボード上で短絡しています。その関係で、A4とA5のピンに関しては、アナログ入力で変換できないようにパッケージ側でコメントアウトされています。プログラムを実行する前に、テキストエディタなどでパッケージ内にある以下のファイルを修正する必要があります。

Windowsの場合

C:\Users\ユーザー名\ドキュメント

\ArduinoData\packages\STM32\hardware\stm32\1.8.0\variants\NUCLEO_F303K8/PeripheralPins.cの49と50行目のコメントアウト//を解除

Macの場合

User/ユーザー名

/Library/Arduino15/packages/STM32/hardware/stm32/1.8.0/variants/NUCLEO_F303 K8/PeripheralPins.cの49と50行目のコメントアウト//を解除

Linuxの場合

/home/ユーザー名

/.arduino15/packages/STM32/hardware/stm32/1.8.0/variants/NUCLEO_F303K8/PeripheralPins.cの49と50行目のコメントアウト//を解除

図.2 修正前のPeripheralPins.c



```
#ifdef HAL_ADC_MODULE_ENABLED

WEAK const PinMap PinMap_ADC[] = {|

(PA_0, ADC1, STM_PIN_DATA_EXT(STM_MODE_ANALOG, GPIO_NOPULL, 0, 1, 0)}, // ADC1_IN1

(PA_1, ADC1, STM_PIN_DATA_EXT(STM_MODE_ANALOG, GPIO_NOPULL, 0, 2, 0)}, // ADC1_IN2

// {PA_2, ADC1, STM_PIN_DATA_EXT(STM_MODE_ANALOG, GPIO_NOPULL, 0, 3, 0)}, // ADC1_IN3 - VCP_TX

{PA_3, ADC1, STM_PIN_DATA_EXT(STM_MODE_ANALOG, GPIO_NOPULL, 0, 4, 0)}, // ADC1_IN4

{PA_4, ADC2, STM_PIN_DATA_EXT(STM_MODE_ANALOG, GPIO_NOPULL, 0, 1, 0)}, // ADC2_IN1

(PA_5, ADC2, STM_PIN_DATA_EXT(STM_MODE_ANALOG, GPIO_NOPULL, 0, 2, 0)}, // ADC2_IN2

(PA_7, ADC2, STM_PIN_DATA_EXT(STM_MODE_ANALOG, GPIO_NOPULL, 0, 4, 0)}, // ADC2_IN3

(PA_7, ADC2, STM_PIN_DATA_EXT(STM_MODE_ANALOG, GPIO_NOPULL, 0, 11, 0)}, // ADC1_IN11

{PB_0, ADC1, STM_PIN_DATA_EXT(STM_MODE_ANALOG, GPIO_NOPULL, 0, 12, 0)}, // ADC1_IN12

{NC, NP, 0}

#endif
```

図.3 修正後のPeripheralPins.c

出典

1. STmicroerectronics社UM1727 User manual Getting started with STM32 Nucleo board software development tools

https://www.st.com/resource/en/user_manual/dm00231744-stm32-nucleo32-boards-mb1180-stmicroelectronics.pdf